

ロシアのウクライナ侵略に断固抗議し、即時中止を強く求めます



大阪自治労連第89回中央委員会（2月13日）は、岸田内閣のもとで初の春闘として、労働者のくらしと中小業者の営業を守る方針を決定しました。
また、コロナ禍が続き、大阪府民の命が危機にさらされていることから、いのち署名を軸に、保健師・看護師等の医療従事者の増員やケア労働者の賃上げなど、自治体申し入れの取り組み等を確認しました。

ウクライナに平和を
PEACE FOR UKRAINE!



豊中市の在大阪ロシア総領事館前で抗議行動（2月28日）

2022 国民春闘

いのちくらしを守れ 憲法いかせ

ようこそ大阪自治労連へ



河内長野市放課後児童会 労働組合が新規加入

河内長野市の放課後児童会（学童保育）で働く支援員（指導員）の労働組合が、2月13日の大阪自治労連第89回中央委員会で、中央委員満場一致で加入承認されました。労働組合結成は1990年7月7日、組合の二一〇一人名は組合結成が七夕だったので「キラキラ☆」です。
執行委員長代行の真鍋弓加里さんに、加入への思い・職場の状況などについて聞きました。



加入承認後、のほりを手にする真鍋さん（中央）と、歓迎する有田執行委員長（左）、尾崎副執行委員長（右）

いろいろ相談できる
自治労連だから

現場ではとにかく人手が足りず、全クラスに主任がそろわない状況が続いていました。会計年度任用職員制度に変わる時に、フルタイム化できればいろいろな問題が解決できると要求しましたが、パートタイムのままとなりました。経験加算も3年が上限、昨年の人事院勧告も正規職員と同じように引き下げられることになりました。労働法制や地公法の改正・人事院勧告など、自分たちだけで情報を集め理解することが難しく、いろいろと相談できる自治労

一人ひとりが
意欲をもって働ける
職場を作りたい

本日加入について承認いただき、心よりお礼申し上げます。私たちの労働組合は結成されて30年余りになります。結成当時と比べると、世の中の女性の就労率は格段に高くなり、それとともに学童保育の社会的な役割は必要欠くべからざる存在となりました。また、近年の新型コロナウイルスウィルスの流行の中で、私たち支援員（指導員）は感染リスクの中で就労支援・子育て支援の最前線で社会を支える仕事をしていると自負しています。しかしながら、組合の結成



昨年12月、河内長野の組合事務所にて「加入届」を受け取りました。真鍋委員長代行に自治労連の学習テキストとオルガナイザーテキストを贈りました

当時から、処遇はほとんど変わることなく、任用には期限があり不安定なままです。「会計年度任用職員」という新しい制度が導入されましたが、根底は何もかわらず、正規雇用との待遇の格差はついついままです。そして、このことによって、長時間労働や支援員不足の問題は長年解決されないままになっています。少子化の中、子どもたちの健全育成と働く人たちの就労を守っていくためにも、これらの問題を解決し、支援員一人ひとりが意欲をもって働ける職場環境を作っていくために、組合員一同、自治労連のみならず方々ともに、今後も活動を続けていきたいと思っています。